

防災冊子「発令中、避難準備情報」の活用を

災害発生時の学校と地域の取り組みについて
新海 市立第二中学校生徒会が作成した「発令中、避難準備情報」という冊子がきわめて良くできている。また毎年「地域の安全、安心を考える集い」を企画し、来年は生徒会と町会が協力して避難所開設運営訓練が実施される予定。これらの活動について教育長の見解は。
教育長 二中学生会の発表の場には参加している。とても価値のある取り組みと評価している。それを支える地域の皆様と教職員に感謝したい。
新海 冊子の中で生徒たちは災害時避難所での子供やお年寄りの相手、避難物資を運ぶ手伝いや避難所の掃除など、中学生に何が出来るかを

真剣に考えている。中学生のこれらの考えに対してどのような指導を行っていくのか。
教育長 基本的には災害時子供達の安全確保が最重要。小・中学生については保護者に引き渡すまで確実に学校でお預かりする。災害発生時学校が避難所になった場合は、保護者と一緒に避難所に来た中学生には活躍してもらう場面もあると考えている。市内の各学校では今後とも災害発生時に備えて防災教育に努めていく。
新海 昨今の地震や水害で家屋被害のために体育館等で避難生活をしている方の映像が流れる。当市の避難想定と収容可能人数はどのくらいか。
総務部長 M7.4の地震規模で、避難人口は

自民党新国会
 新海 栄一



58,443人、市内の避難所に37,988人、市外及び疎開者20,455人を想定。避難所となる小・中学校の体育館と教室、国分寺高校、東京経済大学等で18,304人の収容人数を予定している。
新海 避難スペースは限られており、避難所に入れない場合もある。こうした状況への対応は。
総務部長 自宅が安全な場合は在宅避難をお願いしたい。学校がいっぱい場合は学童保育所や児童館も使用。さらに困難な時は、災害対策基本法第86条の2,3に基づき、都内他市区町村、隣接県等への移送を都知事に要請する。

まちの安心安全のために 不断の行政改革を

1・道路交通・通学路の安全対策
木島 西国分寺駅南口の武蔵野線ガード下付近の安全対策について。
市 立て看板を設置した。路面にも注意喚起の標示を年度内に行う。
木島 本町一丁目交差点及び国分寺駅北口自転車駐車場付近での自転車走行の安全対策が必要
市 交通管理者と連携してさらに対応する。
木島 通学路の安全のため、ブロック塀の撤去費用助成の促進やカラー舗装等の取り組みを。
市 児童等の安全のためにさらに強化したい。
2・障害者への支援について（移動支援事業）
木島 移動支援事業のヘルパー不足の課題を克

服するため、ヘルパーの報酬単価を引き上げ、利用者や障害者団体からの要望に応えるべき。
市 特に課題であった短時間部分の報酬単価の改定に向けて速やかに検討を行いたい。
3・防災・減災対策について
木島 豪雨時における野川周辺地域の避難準備行動の明確化を求めているが、検討状況は？
市 1月に全戸配布されるハザードマップ（災害危険箇所図）に反映するなど対応を進める。
木島 避難所でのエコノミークラス症候群対策等のために段ボールベッドの民間との協定を。
市 年度内に協定を締結する方向で進める。
4・環境対策、まちの防犯

公明党
 木島 たかし



木島 国分寺駅南口の本町・南町地域センター付近を路上喫煙禁止エリアに指定するべき。
市 禁止エリアの変更を検討したい。
木島 国分寺駅北口周辺でのつきまといや勧誘行為が一部で改善されていない。対策強化を。
市 地域の安心安全のために対応していく。
5・今後の市政経営について
木島 行政改革・財政健全化の視点で、公共施設等の適切な再編と、公会計の改革の推進で、「国分寺市版の財政の見える化」を。
市 総合的に検証して、しっかりと取り組む。

のびのびと遊べる「原っぱ」を子どもたちに

☆地域住民の声を活かした広場づくり
星 十小の東側に計画している「戸倉公園」のその後の進捗状況はどうなっているのか。
市 どのように整備するのか未定。ただし、一部の土地を国分寺土地開発公社が先行取得した。
星 黒いビニールシートがかけられている現地を確認した。このエリアは公園が少ない。戸倉公園の実現にも相当の年月を要する。よって、この先行取得した土地を「ビニールシートをはずし、『原っぱ』として市民に開放してほしい」との地域の強い要望をお伺いしている。
市 市が公社から買い取る前に供用を開始した自治体があるのか、あるとしたらどのような手

続きや方法をとったのかなどを研究する。
星 「2022年度までに市に売り払う」と公社資料に記載されている。市有地になった方が活用の幅が広がる。先の「研究」と並行して、市による買取り時期を早める検討をお願いしたい。
市 早期の買取りを行いたい、財政負担もあるため、スケジュールをいま示すことは難しい。
星 「草花が生い茂る場所となれば、子どもたちに緑を大切に作る心が育まれる」「イメージは『ドラえもん』の空き地」など、この件に関する地域のみなさんの意見・アイディアは実に多彩。また、「自然がたくさんあってずっと住み続けたいと思える街であってほしい」との思いを小学

国分寺政策市民フォーラム
 星 いつろう



生も抱いていることを保護者からお聞きした。この土地の活用、今後の公園整備についてはPTAや学校を含めて、地域住民と「意見交換」をする場を設けていただきたい。
市 「先行取得地の活用は可能」となれば、市民のご意見を聞きながら進めたい。
 ☆登校時間帯の児童・生徒の事故防止
星 朝のスクールゾーンの車両通行禁止の時間帯に「通行許可書」を持たない工事車両の進入が最近頻繁に見受けられるとの声を伺った。
市 許可書の取得の周知など調整していきたい。

学童も含め病児・病後児保育の受入れ拡充を

(1) 病児・病後児保育の受け入れ拡充を
問 乳幼児の病変時に仕事と育児の両立で悩む保護者から要望が多い。又学童に通う就学児童も対象にとの相談も頂く積極的な検討を求める。
市 必要性を認識しており国分寺病院の保育室で検討できないか前向きに検討している。又就学児童については府中小児総合医療センターで整備計画があり協議を進めていく。
(2) 新生児の聴覚検査に助成支援を
問 妊娠初期の妊婦が風しんに感染した場合、胎児に聴覚等へのリスクが高まり発達に於いて影響が懸念される。助成支援で感染予防の促進を。
市 東京都全体で協議しており、それを見据え

て実施の検討をしたい。
(3) 教育現場での手話学習と通訳者の拡大推進を。2020年にはパラリンピックが行われ本市にも聴覚障がい者の来訪が予想される。又、災害時のサポートなど手話言語の普及は大変重要と考える。教育現場での学習、通訳者養成講座への受講アップに向けた積極的な働きかけを。
市 意欲的な取り組みを工夫していく。
(4) 「農業体験」を国分寺の魅力の一つに 都市部でありながら農業が息づく本市は子ども達が収穫の喜びを体感できる貴重な地域。関係者等のご協力を頂き農業体験学習の出来るまち国分寺として受入れ取り組み事はできないか。

公明党
 高橋 りょう子



市 J Aや農業者とも協議研究したい。
(5) ぶんバス北町ルート西国分寺駅延伸実現
問 平成18年824名の署名と要望書提出しぶんバス北町ルート導入を訴え続けて来た。長い時間がかかったが12/1~JR西国分寺駅への延伸が実現し高く評価すると共に関係各位に感謝。今後車内アンケート等で利用者の声の更なる反映を。
市 バス事業者とも協議し検討する。
その他 ①風しんワクチン同居家族接種を評価。②高齢者の健康診査項目に骨粗鬆症検査導入を。③西町三丁目交差点の安全対策等を、質問。